

教科目標

心と体を一体としてとらえ、適切な運動の経験と健康・安全についての理解を通して、生涯にわたって運動に親しむ資質や能力の基礎を育てるとともに健康の保持増進と体力の向上を図り、楽しく明るい生活を営む態度を育てる。

言語活動の充実

集団的活動や身体表現などを通じてコミュニケーション能力を育成することや、筋道を立てて練習や作戦を考え、改善の方法などを互いに話し合う学習活動

思考 発信 交流 再考 発信

考えをもつ

表現する

交流し、再考する

自分やチームに適した課題を見つけ、個人技に取り組んだりチームで練習したりできるように考えをもつ。
チームの作戦を考える。

自分の表したいことを身体表現を交えながら、言語を通して相手に説明する。
どんな動きだったのかを自分自身がイメージ化し、言語によって相手に伝える。

課題を解決するために互いに協力して練習してきたことを振り返り、さらなる課題に生かす。
ルールの変更や次の作戦を考える。

<実践例>

単元における指導例 【単元名】 バasketボール 第5学年

ボールを操作するときの課題を見つけ、自分やチームの課題解決に向けての練習方法について、自分なりの考えをもつ。
チームの作戦を自分なりに考える。

自分やチームの課題解決に向けた練習方法をチーム内で説明する。
自分なりに考えた作戦をチーム内で説明する。

チームの作戦を互いに発表し、効果的な動きについて話し合う。
作戦を修正し、次の活動に生かすことができるよう再考する。

<目指す姿>

正確なボール操作について、理由や根拠を挙げながら自分なりの考えや意見をもつ姿。

示範や身体表現などを交えながら、自分なりの考えや意見を説明する姿。

互いの考えや意見を伝え合い、異なる意見も意識しながら自分の考えを広める姿。

<十分満足>

パスをしたりドリブルをしたりする技能についての確かな理由付けをして自分なりの考えや意見をもつ。

<おおむね満足>

パスをしたりドリブルをしたりする技能について自分の経験を基にして考えや意見をもつ。

<努力を要する状況の手だて>

一つ一つの手の動きや足の動きなどに着目させながら、自分なりの考えや意見をもたせる。

<十分満足>

相手のことを意識しながら示範や身体表現などを交え、分かりやすく自分なりの考えや意見を説明する。

<おおむね満足>

相手のことを考え身体表現を交えながら、自分なりの考えや意見を説明する。

<努力を要する状況の手だて>

一つ一つの運動を想起させながら、自分のしたことを順番に説明させる。

<十分満足>

成功した作戦を伝え合い、他のチームのよいところを見つけて自分のチームに生かすことができる。

<おおむね満足>

成功した作戦を伝え合い、他のチームのよいところを見つけて生かすことができる。

<努力を要する状況の手だて>

どんな動きがうまく成功したのかを想起させながら、話し合いに参加させる。

中学校 保健体育

教科目標

心と体を一体としてとらえ、運動や健康・安全についての理解と運動の合理的な実践を通して、生涯にわたって運動に親しむ資質や能力を育てるとともに健康の保持増進のための実践力の育成と体力の向上を図り、明るく豊かな生活を営む態度を育てる。

言語活動の充実

集団的活動や身体表現などを通じてコミュニケーション能力を育成することや、筋道を立てて練習や作戦を考え、改善の方法などを互いに話し合う学習活動

思考 発信 交流 再考 発信

考えをもつ

表現する

交流し、再考する

自分や集団に適した課題を設定し、個人技に取り組んだり集団で練習したりできるように課題解決に向けた考えをもつ。

互いに補助し合ったり、運動観察を通したりして仲間の課題を指摘する。
学習課題の解決に向けて仲間に助言する。

課題を解決するために互いに協力して練習してきたことを発表する。
さらなる課題解決に向けて、自分の考えをもつ。

単元における指導例【単元名】 ダンス 第2学年

表現したいシーンのイメージを絵や言葉で表してみたり、イメージに合う曲を探してみたりする。
イメージをラインや色を使って画像にしながら考える。

イメージに合った音楽や線画などを手がかりにして、具体化した身体表現を言葉でも説明する。

まとめあげた作品を発表し合い、鑑賞することで互いのよさを認め合う。
自分の内面を見直すことで、新しい課題解決の方策を考える。

<目指す姿>

音楽や絵画、物語など、これまでの経験や知識を生かして、自分なりのイメージを言葉や図形を使って具体化する姿。

個人や集団を意識して、分かりやすい音楽や線画などを用いて、自分なりの思いや考えを説明する姿。

作品を伝え合うことを通して、互いの考えの相違点を認め合い、自分の考えを深める姿。

<十分満足>

音楽や絵画、物語など、これまでの経験や既習事項を想起して、自分なりのイメージを言葉や図形で表す。

<おおむね満足>

いくつかの理由や根拠を挙げながら自分なりのイメージを言葉や図形で表す。

<努力を要する状況の手だて>

フォークダンスや日本の踊りを想起させながら、参考となる動きを取り入れ、言葉や図形で表す。

<十分満足>

話す相手に応じて自分なりの思いや考えを論理的に説明する。

<おおむね満足>

内容の構成や伝え方を意識し、自分なりの思いや考えを説明する。

<努力を要する状況の手だて>

線画や単語を意識させながら、説明する。

<十分満足>

作品のよさを見つけ、表現技法や空間の使い方など具体例を挙げながら、自分の考えを相手に伝える。

<おおむね満足>

作品のよさを見つけ、いくつかの例を挙げながら、自分の考えを相手に伝える。

<努力を要する状況の手だて>

作品の一つ一つの動きを想起させながら、自分の考えを相手に伝える。